

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年2月13日

事業所名 こどもくらぶがジュマール

	チェック項目	はい	どちらか いい	いい	工夫している点	評価や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	6	1	1			
	2 職員の配置数は適切である	7		1		適切に配置しております。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	4	1		現在対象児童がおりませんが、対象児童が通所する際には事前に施設内環境を確認し、検討して行く必要があると認識しております。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参加している	6	2			より良い業務へと考えていくために、PDCAサイクルを意識して取り組めるよう仕組み作りを考えております。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1			今後もより良い取り組みと、改善に努めてまいります。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	3	1		事業所内連絡網にて公開情報をお伝えしております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	3			管理者が関係者より評価を頂き業務の改善につとめております。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1			コロナやインフルエンザも落ち遅れてきた事で、研修の機会を幅広くつくっております。	
	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	7	1			子ども達の思いを尊重すべく、定期的に子ども会議を開催しております。対象児童を取り巻く全ての人で（保護者さま・学校・事業所・地域関係者）三拍子一体で働きかけながらアセスメントが大切だと感じています。	
	10 子どもの適応行動の状態を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2	1		子どもの適応行動アセスメントや、五領域を踏まえたアセスメントへ変更しております。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1			今後も各職員の得意な事を、子ども達の活動プログラムへと取り入れながら社会生活の幅を広げてまいります。	
適切な 支援の 提供	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7	1				
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7	1			日々の子ども達の変化に重きを置いて対応しております。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	6	2			今後も子ども達ひとり一人の成長に合せ、バランス良く活動を提供していくことを踏まえ、計画作成に努めてまいります。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1				
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8				普段より意識して共有しておりますが、改善の余地がありましたら職員みんなで考えて参りたいと思います。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1			記録の打ち込みまで時間的に厳しい時もあるが、翌日には必ず打ち込んで残しております。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	7	1			職員全体で検討し、必要に応じて見直しながら判断を行い、より良い支援に繋げていくことが大切だと認識しております。	
	19 ガイドラインの原則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	7	1			ガイドラインに記されている通り、総合的な活動を支援を行っております。	
	関係機関 や保護者 との連携	20 障害児支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加している	7	1			児童発達だけでなく、一番身近で寄り添っている担当職員も出席しております。
		21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻・遅刻・遅退等の連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	8				学校送迎時には、担任や支援の先生と情報共有に心がけております。
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		4	4			現在、対象となる医療的ケア児童が在籍していないが、今後、そのようなケースが出てきた際は、主治医などと連携して支援していく予定です。	
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めている		8				常に情報の連携を図り、情報共有に努めています。	
24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		7	1			習得点で対象のご利用情報はございませんが、今後そのようなケースが出てきた際は、必要に応じて連携していきたいと考えております。	
25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		7	1			今後も療育支援に於ける質の向上を心がけ、可能な限り参加していきたいと思っております。	
26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		5	3			児童館や体育館、公園活動など、その場に居合わせた児童との交流機会はありますが、障音のあるなしに関わらず一緒に活動できる機会を設けていきたいと考えております。また、児童館協議にその思いを伝え、実現できるような考えを参ります。	
27 (地域自立支援)協議会等積極的に参加している		5	3			エリアネットワークに参加しており、今後も地域との連携を意識して努めてまいります。	
28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達状況や課題について共通理解を持っている		8				送迎時だけでなく、定期的にご自宅を訪問し、保護者様との情報共有を密にし、持ち帰った情報を職員間で共有しております。	
29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		5	2	1		習得点、ペアトしは行っておりませんが、保護者さまの思いをしっかりと受け止め、保護者さまへ伝わるように言葉にも配慮しながら、助言を行っております。	
保護者 への説明 責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6	2			当事業所をご利用される前につきりと説明を行い、ご不明な点があった際にも随時対応しております。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に対応し、必要な助言と支援を行っている	8				時には、先輩保護者さまからのお声を事例として、悩みや思いをしっかりと受け止め、保護者さまへ伝わるように言葉も配慮しながら、助言や可能な限りの支援を行えるよう心がけて対応しております。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4	3	1		コロナやインフルエンザの感染対策も解除され、昨年初めて開催しました。今後も継続して実施していく予定です。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	8				苦情解決研修へ参加した職員を中心に、事例報告・共通認識の徹底を図っております。また、苦情のお申し出があった際には、当事者さまへご訪問し、丁寧な説明と今後の対策をしっかりとお伝えしております。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	2			会報などの発行はしてはおりませんが、毎年、障がいの春月間には、公共施設などでパネル展示を行ったりしております。また、保護者さまと広く共通して連絡体制や情報の発信をおこなっております。	
	35 個人情報に十分注意している	7	1			写真や氏名の公共への公開については、取扱いに関しては、その都度保護者への確認を徹底し、十分配慮しております。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8					
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている	5	1	2		感染症対策もあったので、これまでご招待した事はなかったが、子ども達がフックアップ活動でお菓子を、ご近所の方々へお届けています。	
	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	4	1		各マニュアルは作成されておりますが、保護者様への周知ができておらず、今後、保護者さまなどとして発信してまいります。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5	3			年に2回、総合防災訓練を実施しております。歳時差に差障りなく、不審者対策も実施しております。	
非常 等の 対応	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1			虐待防止委員会の設置、併せて担当職員を中心に、定期的に虐待防止委員会を開催しております。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	8				対象となる利用者様はおりませんが、身体拘束マニュアルを作成し、委員会設置しております。必要な状況がありましたら、同意取得しながら、保護者様と十分に連携を図りながら計画に参りたしと考えております。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づき対応がされている	5	3			対象のご利用者さまに関しては、保護者様の手作り弁当、また、持参のおやつをお願いしております。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	6	2			ヒヤリハットを記録すると同時に、職員全員には当日中に共有し、共通認識できるようにしております。	